

学校だより3号 平成27年5月29日発行

きずな



北九州市立折尾西小学校
校長 二宮 利之
児童数529名

～ 運動会でねらうこと ～ 一体感・成就感・所属感！

5月31日（日）は、いよいよ運動会です。先日の開会式の練習は、立つときの「ヤッ！」という声や応援団の児童の活躍ぶりなどいろんな場面で一体感を感じさせるものになってきています。当日は多くの保護者の皆様や地域の方々に、折尾西小の子どもたちの成長ぶり、素晴らしいを見ていただきたいと思います。

【運動会のねらい】

この運動会という行事は、体育科の学習の成果を発表することと共に、体育的な活動をもとにしながら集団への所属感を高めることをねらいとしています。そこで、全校の子どもたちが、同じ運動場で一堂に会し、協力して一つ一つの演技を成し遂げることを通して、自分の役割を自覚し、一体感・成就感を味わうことができることが大切なのです。言葉には出さないにしても「折尾西小学校の一員でよかった」「また、明日から学校生活をがんばるぞ」という成就感を感じてほしいのです。そんな機会になるようにしたいと考えています。

ですから、応援団や演技係、用具係など運営に関する各係の仕事などは、ことさら重要な活動だということになります。ぜひ、このようなねらいがあることをご理解いただき、ご観覧くださいれば幸いです。

【運動会観覧の視点】

実際にご観覧いただく場合に、次のような視点で見ていただくとありがたいと思います。ご自分のお子様をしっかり見ていただき、帰宅後には、がんばりを誉めてやっていただければ、教育効果はより大きくなり心の成長にもつながっていくと考えています。

☆ 観覧の視点 ☆

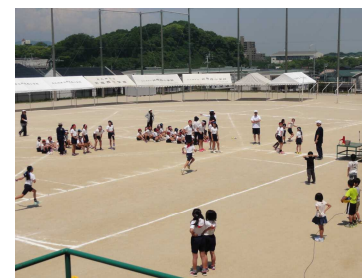
- 集団で行動・演技する際に全体に合わせようと努力する子どもの姿
- 自分のベストを尽くそうとする子どもの表情や姿
- 円滑な運営のために、スタッフとしてがんばる高学年の子どもたちの動き
- 応援団を中心にした子どもたちの一体感の高まり
- 体育的な演技を必死になって楽しみ、熱中する子どもの姿
- 勝ち負けを素直に受け入れ、自分や相手のがんばりに拍手を送ることができる姿
- うまくできなかった時でも、応援したり、演技を続けようとしていたりする真剣な表情やふるまい

【運動会練習風景スナップ】



「合
言葉に、全
合言葉に、全
練習。引き締
つた雰囲気の中、
所属感、一体感
が高まるよい練習
でした。」

て朝早く、そして
んばっていても、そ
援団。一体感、あ
高めてくれる立役者です。



高学年が、低学年を気遣いつつ、練習に励む紅白の一体感が最も高潮になる競技の期待しつづけています。

昼休みに、紅白のリレーの練習が進む中、国旗等の掲揚役の打ち合わせ。陰で運動会を支える大切な仕事の一つです。



もう一つの運動会

（いつもご協力いただけてますが、今年も…！）

マナーアップ運動会

よろしくお願い申し上げます。

運動会の練習中に、こんな“声”が聞こえてきます。それは、紅白の組に関係なく「がんばれー」とエールを送る声、また、「～するとうまくできるんだよ」とアドバイスする声などです。子どもたちは、運動技能の向上だけでなく、分かち合う心や学年一体となって、めあてを意識してともに向上しようとする姿を見せています。

そこで、マナーよく演技する子どもと観る側も一体となって、運動会を盛り上げるために、下記のマナーアップをよろしくお願い申し上げます。

- ☆ 校地内での喫煙ゼロ！
- ☆ 運動場内では、禁酒！
- ☆ ゴミは、必ず持ち帰る！
- ☆ 近隣への自家用車駐車ゼロ！

